

# ドスケベ 発情ギョネ



\*免責  
・当CG集のキャラクターは全員18歳以上です。  
・当CG集を利用した結果発生した損害等について、一切の責任を負いません。  
・画像データ類の個人利用以外での無断転載、配布を禁止します。

吉井テック社



彼女は優しくくて美人なキツネのお姉ちゃんです。  
一緒に住んでる子が発情期に入ってしまった。

「え、私の裸を見てたら  
またムラムラしてきたから  
交尾したいですって？  
んもお、お風呂に入ったばかりなのに…」





「仕方ないわねえ…ちよつとだけよる♡」

優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
いつでもエツキなことをさせてくれる  
ドスケベお姉ちゃんでした。





「私のお胸で気持ちよくしてあげるから  
それでガマンしてね♡」  
キツネのお姉ちゃんは  
大きな胸でペニスを包み込みます。

ピクピク...

ムニユ...





お風呂上がりのいい匂いと  
弾力があるおっぱいの柔らかさで  
ガチガチだったオチンチンが  
さらに固くなっています。

んっっっっ♡

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ





あまりの気持ちよさに射精しかけました。  
「あ！お汁がちよっと出てきた、  
そんなに私の胸が良かったの♡」



んっ♡♡♡

ピクッ...

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



「ほんと、発情期オチンチンは  
すぐお汁が出ちやうんだから  
仕方ないわね、えいっ♡」  
射精しそうになっているペニスを  
胸でさらに締め付けあげました。

んっ♡♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ









びゅっくりと大量の濃いザーメンが  
飛び散り、キツネのお姉ちゃんの  
顔や胸が汚れてしまいました。

「ん…♡すごい量出ちゃった…♡」

ト…ロ…





「ど、ちよっとはスッキリした？」  
お姉ちゃんはそう言いながら  
ペニスにっついた精液をねっとり  
丁寧に舐め取っていきます。



ん...ん...♡

ん...ん...♡

チュッポ...♡  
チュッポ...♡





射精したばかりの敏感オチンチンを  
ねっとり丁寧に刺激されたせいで  
また、射精してしまいました。





「発情期なんだし  
一回出したくらいじゃ収まらないわよね、  
あなたのオチンチン♡」

「せっぱり交尾しましよつか…♡」





ピンク色のキレイなアソコが  
ガチガチ発情ペニスを呑み込んでいきます。  
「たくさんお汁を出しちゃっていいからね♡」

ズブズブ...

ぐにゅ...♡





「あ…♡やっぱり  
あなたのオチンチン♡  
太いわね…ギチギチよ♡」

パンッ

ピクッ

ピクッ

パンッ

パンッ







んっ♡♡

ぱんっ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぱんっ

ぱんっ



「アッコの奥にお汁を  
出しちゃったのに…♡  
一発目でもう溢れちゃってる…♡」





「ん…♡遠慮しなくて  
いいからね、気が済むまで  
アソコで出していいから…」♡

ん♡  
ん♡

パンッ  
パンッ

ピクッ

ピクッ

パンッ  
パンッ

パンッ  
パンッ







ピクッ

んっ

ピクッ

パッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

パッ

パッ



「ハアハア……ん……♡  
わ、私はまだ大丈夫だから♡  
ふう……♡ん……♡♡♡♡♡  
」

ドブッ

キュンッ

キュンッ

ドブッ

ハア♡

ハア♡





ピクッ

ん... あん... っ

ん... っ

ピクッ

グチュ

ピクッ

ピクッ

ズッ

ピクッ

ズッ

グチュ

ズッ





ゴ  
ム  
ム

ビクッ



ビクッ

ん  
あ  
っ  
♡

ビクッ

ビクッ

ヌ  
ル  
ル

ビクッ



「ん…♡あ…♡  
これだけ出せば  
あなたも満足したわよね？」

ぐっぐっ…

ピク

ピク





「ハアハア…♡  
満足しないのわかってたけど  
ちよ、ちよと休ませ…♡」



ピクッ

ピクッ

あっ♡

あっ♡

んっ♡

やっ♡

イッ♡

イッ♡

ピクッ

ピクッ

グググ

キョッ

キョッ

ズッ

ピクッ

ズッ

ピクッ

ブブブ

グググ

ズッ



キツネのお姉ちゃんは  
アクメマンコに特濃ザーメンを  
思いっきり注がれました。

ガク

ガク

ガク

びゅん

ドク

ガク

びゅん

ドク

ドク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

んんん

んんん







ガク

ガク

あーん

ガク

あーん

おっ

ガク

やめ...

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ガク





ガッ

あ

ガッ

あ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ  
ガッ  
ガッ

ん

ド  
ドビュルルルルル〜

ガッ  
ガッ

ドブッ

ガッ  
ガッ

ドブッ

ドブッ

あ

あ

あ



キツネのお姉ちゃんのオマンコは発情チンポの濃厚なザーメンでパンパンになってしまい結合部から大量の精液が溢れてしまっています。

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

びしょ

びしょ

ドブッ

ドブッ

びしょ

びしょ







「うう…♡軽く交尾するつもり  
だったのに…♡もうへとへと…♡  
私はまだ発情期に入っていないのに♡  
これだけ出せばあなたも満足よね？」

どろろ…

ビク

ビク



しかし…交尾はまだ終わりませんでした。  
でも、お姉ちゃんは優しくくてドスケベなので  
絶倫発情チンポをしっかり受け入れて、  
失神するまで交尾させてあげました。





キツネのお姉ちゃんは今日も交尾してくれます。

ロ...

「んもお...♡昨日あんなにいっぱい  
交尾したのに、まだ発情期がおさまらないの？  
こんなにガチガチにしちやあってえ♡仕方ないわねえ...♡」



「んちゅ…♡  
ぺろ…♡  
あなたのおチンチン  
太いから…♡  
お口でするの大変よお…♡」



ンチュ

ペロ

ピッ

ピッ







「んちゅっ♡んちゅ♡れる♡んちゅっ♡  
もう…オチンチンビクビクして  
出そうになってる♡…♡」

んっ♡  
んっ♡

ンチュ

ビクッ

ンチュ

ビク

ビク







ジュンジュン

ジュンジュンジュンジュン  
ジュンジュン  
ジュンジュン

んんん  
ジュンジュン

ジュンジュン



「濃いのでいっぱい出したばかりなのに  
もうこんなに元気になっちゃって、んもお…♡」





「ジュルツ…♡チュブツ♡  
んっ…チュツ♡ズズズヨッ…のよ…♡」



んっ♡  
んっ♡

ンチュ

ピクッ

ンチュ

ピク

ピク





ビクッ

ビクッ

ドブッ

ん  
びび  
びび

ビク  
ビク  
ビク



「んっ…♡ケホツケホツ♡  
今日もすごい量…やっぱり、下のお口で  
いっぱい出さなきゃダメ見たいね♡」

トロ〜

ハァ♡  
ハァ♡







「ほら…来て♡」

キツネのお姉ちゃんは

お尻を前に突き出し

ペニスを受け入れる用意をしました。

「いっぱい交尾しましょ♡」



気持ちのいいフェラで何度も射精して  
ヌルヌルになったペニスが  
何度も滑ってしまいアソコに入らない。  
「んもお！そんなに焦らないの  
私のオマンコは逃げないわよ♡」

ヌルッ♡

ヌルッ♡







んっ♡

アソコの柔らかかくて  
ビラビラした感覚に  
挿入する前に射精してしまいました。  
「あ…んもお…♡」

びゅっ

びゅっ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





「挿れる前に出ちやっただ♡

もお、敏感オチンチンねえ♡

でも、さっきより挿れやすくなったでしょ」

べっぴん...



「ん…あっ…んんっ♡  
オ、オチンチン今度は  
ちやんと入って来たあ♡  
それに出したばかりなのに  
もうギチギチになってる…おっっわ♡」

んっ♡

んっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ハクッ♡

ハクッ♡

ズッ







「ハア…♡発情期じゃないのに  
私も興奮してきちゃった♡  
いっぱい交尾して  
いっぱい気持ちよくなりましょ♡」  
（今日も失神するまで交尾しちゃうぞ♡）

はあ♡  
はあ♡  
はあ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

パンッ

パンッ

パンッ

キュッ  
キュッ





あんっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ドブッ

ドブッ

キョッ

キョッ



「アソコにお汁がいっぱい過ぎて  
突く度にグチュグチュいってる…  
もお…出し過ぎなんだから♡♡」

んっ♡

んっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ハチゅ♡

グモ

グモ

グモ

グモ

ハチゅ♡







ドビ

ビュ  
ム

♡

ピクッ

んおっ♡

ピクッ

ピクッ

ガク  
ガク

ガク

ガク

トロ...



「あ…♡アンコからお汁…  
いっぱい出ちやってる♡  
いつもながらすごい量ね♡♡  
（ちょっと、イツちやっただ♡）



ガク

クワクワ

ゴホホ...

ガク  
ガク

ガク



「がちがちオチンチンが収まるまで  
いっぱい中に出していいからね♡  
ガマンはカラダに悪いわよ♡」  
お姉ちゃんも腰を振って  
がちがち発情ペニスの  
射精を促そうとしています。





どぶっどぶっとお姉ちゃんの  
アソコに新しい精液が注ぎ込まれます。  
発情期に入ったペニスは  
何度も射精しないと  
ガチガチのまま収まりません。



んっ♡

ピクッ

ピクッ

ドブッ

ドブッ

びゅんびゅん

びゅんびゅん



「ずっとこのまま、繋がって  
交尾していたいって…  
んもお、甘えん坊なんだから♡」





「んあっ♡」  
抜かずに何度も膣内射精されてるので  
キツネのお姉ちゃんも  
何度も絶頂アクメしてしまい  
発情オチンチンを  
絞り上げてしまいます。





「んはあっお尻はまだ慣れてないのに…  
そんなにかき回さないでえ…♡」



ピクッ

ピクッ

ぶぶぶ♡

ぐぽっ

ぐぽっ

ロー

ピク

ピク





ビクッ

オオオオ  
イイイイ

ガッ

オオオオ

ビクッ

ビクッ

ガッ

ガッ

オオオオ

フ...

ム...

ム...

ム...

ビクッ

ガッ

ガッ

ビクッ



「はあはあ…♡お尻でもイッちゃった♡  
ちよ、ちよつと休ませて…♡」

ピクッ

ピクッ

ゴホホ…

トロ〜

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡









絶倫フル勃起発情チンポと休み無しに延々交尾して…





数時間後...



んっ♡  
お♡

んっ♡  
んっ♡

んっ♡  
んっ♡

ピクッ

ピクッ

パ  
ン  
ッ

ズ  
ッ

キュッ

キュッ

パ  
ン  
ッ

ズ  
ッ



何十回も連続中出し絶頂させられてお姉ちゃんに限界に達していた。



んあっ♡

ドグッ♡  
ビクッ♡

ビクッ♡

ブルブル♡

ブルブル♡

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ドクッ♡

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ドクッ♡

ガッ

ガッ

ガッ







「ひら…ひら…♡も、もう…  
これだけ出せばいいわよね♡  
も、もう、アソコにカスらないから…♡」



ガク

ハァ♡

ハァ♡

ガク

ガク

ガク

ガク

キュン

キュン

ガク

ガク

ガク

ガク





あーん

カクン

んっ

カクン

ガッ

ガッ

ガッ

ズッ



「ふう…♡あなたの発情期も収まったみたいね♡」  
何度もアクメ失神させられたけど  
ようやく落ち着いてきた  
キツネのお姉ちゃん。  
「ん…♡いっぱい交尾しましたよって…  
言っただけど1日中するとは  
思ってたなかったわ…♡」

トロ〜

♡

♡





さんざん中出し絶頂したお姉ちゃんの  
両穴からすごい量の精液が流れ出てきた。  
(この量...お風呂で  
洗い流すの大変そうだわ...)

ゴボ。ゴボ。...

ゴボ。...

ん...♡



「ほんと…発情期のおなたっすてすていいわよね。  
また発情期がきちやったら  
交尾させてあげるからね♡」







おわり



おまけ





キツネのお姉ちゃんのお家にお友達がやってきました。  
「ん…ゴメンね、いま交尾中だからちよっと待っててね！あんっ…♡」  
お友達の目の前で気持ちよく交尾をしています。





「アナタもしたくなっただの  
仕方ないわねえ…♡」  
お姉ちゃんの交尾の様子を見た  
お友達も勃起して興奮したようです。







ビクッ

んあ〜♡

ジュジュ♡

ガッ  
ガッ

ジュジュ  
ジュジュ

ジュジュ♡

ビクッ  
ビクッ

ジュジュ♡





「んもおお…気が早いんだから♡」

んっ…♡

ドブッ

ドブッ



「順番ずつだからね！♡」  
興奮してフル勃起した  
お友達も混ざって  
交尾することになりました。



パンッ  
パンッ  
グモ  
グモ



キツネのお姉ちゃん達は  
ゴムを付ける習慣がないので  
次々、こっ तरी濃厚な精液を  
膣内の奥にたっぷりと  
注いでいきます。

ハア……♡

ガッ  
ガッ

ドブブッ

ガッ

ゴキッ  
ゴキッ

ゴキッ

ガッ







「んぶっ…♡んおおっ…♡  
順番ずつつって…言ったの♡  
みんな、我慢できなくなって  
お姉ちゃんのお口やお尻まで  
使い始めました。」

あぁ

んんん

ピクッ  
ピクッ

フッ  
フッ

ピクッ

ズッ

ズッ

グキョ

グキョ

ゴキョ

グキョ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

♡♡





グッ...

ぐい

ガッ

ゴポッ

ガッ

ド

ガッ

ガッ

ド  
ド

ガッ  
ガッ

ガッ

びん

びん

ガッ



「おおお…♡♡♡」  
交尾を頼まれたら  
断ることが出来ないのよ、  
毎回グチュグチュのドロドロに  
なるまでヤラれちゃう  
お姉ちゃんでした。

ドロ〜

キュンッ

キュンッ

ハハハ

ハハハ





「メスって私だけなの…♡」  
優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
発情期に入ってしまったので、

ハァ♡  
ハァ♡

ムキムキ…

「私の体持つかしら…♡」  
他の発情期の子と  
いっぱい交尾するようです…





「ん…んちゅ…オチンチンがいっぱい♡」  
ガチガチに興奮しているみんなの発情ペニスを  
丁寧にねっとりしゃぶってあげています。

フビュ

ンチュ

ペロ





発情期に入ったペニスは敏感なので  
舌でねっとり舐め回されると  
すぐに射精してしまいます。

んぐんぐん♡

グ  
グ  
グ  
グ  
グ♡

ググッ





「んぶ…♡みんな敏感なんだから…♡」  
口いっぱい広がる精液の味に  
お姉ちゃんも興奮してきました。

いゃるるる…♡

キョッ  
キョッ







「じゅっ♡じゅる♡ちゅぷっ♡んっ♡ちゅっ♡  
オチンチンいっぱい過ぎて…♡んちゅッ♡」

んっ♡

んっ♡

んちゅ♡

んちゅ♡





ピクッ

ゴクッ

あーっ

ジュジュッ

ゴクッ

ゴクッ

ジュジュッ

ジュジュッ

ジュジュッ

ピクッ

ジュジュッ



ペニスを沢山しゃぶったせいで  
お姉ちゃん頭の頭の中は交尾のことで  
いっぱいになってしまいました。

おが  
ちん  
ちん  
ちん

ハア♡

ハア♡





「オチンチン…♡  
オチンチン…♡気持ちいいっ…♡」  
お姉ちゃんは完全に発情してしまい  
完全に理性が飛んでしまいました。

ピクッ

ハア

ハア

ピクッ

グネッ

ズッ

グネッ

ズッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





「んんんんっ♡♡♡」  
お姉ちゃんの発情マンコとお尻に  
たっぷりと精液が注がれました。

んんん

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ドブッ

ドクッ

びゅん

びゅん

ドクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ



「もっとオマンコ突いてえ…♡  
私の中、お汁でパンパンにしてえ…♡」  
発情期特有のフェロモンで  
どんどん交尾が激しくなっていきます。

ピクッ

ハア

ハア

ピクッ

グネッ

ズッ

グネッ

ズッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





あーあー

あーあー

ビクッ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ドク

ガクガク

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ドク

ドク

ドク

ドク

ガクガク

ガクガク



モワァ...

ゾ...

ビキビキに固くなった  
発情期ちんぽの力りが  
他の子の精液を掻き出しながら  
自分の精液をどんどん注いでいきます。

ドブッ

ドブッ

キュッ

ドブッ

キュッ

ドブッ

ズルッ...  
ズルッ...



「あひっ…♡あひっ…♡コレ止まらない…♡  
オチンチン気持ちよくて止まらないのお…♡」  
発情期の性欲には勝てません。

ハヒ♡

ハヒ♡

ズッ

ズッ

ズッ

キュッ

キュッ





ドブッ

ドブッ

ドブッ

ゴシッ

ゴシッ

ゴシッ

ゴシッ

ドブッ

ドブッ

ドブッ

ゴシッ

ゴシッ



アクメマンコが痙攣して無意識に  
精液を絞りとろうとするも！

「あ：オチンチン♥また抜けちやった！♥  
精液こぼれちやうう…♥」

ぬるん

ズルん…

ハァ  
ハァ



発情期中は生殖本能と快楽欲求に  
完全に支配されてしまうので  
交尾が止められなくなった  
お姉ちゃんのお腹は  
精液でタプタプになってしまいました。



ガク

ハァ♡

ハァ♡

ガク

ガク

ガク

ガク

たぷん

たぷん

グモグモ

グモグモ

ガク

ガク

ガク ガク





ビクッ

♡  
♡

ビクッ

ビクッ

♡

ガク

ガク

ガク

ガク

ジュッ

ドクッ

ジュッ

ジュッ

ガク

ガク

ドクッ

ガク

♡



オスの発情フェロモンに  
刺激されまくって、  
お姉ちゃんの発情期は  
なかなか収まることはありません。



おーっ

ドクッ  
キョッ  
キョッ  
ドクッ



お姉ちゃんは性欲よりも先に  
体力が尽きて倒れてしまいました。  
それでもみんな交尾を止めてくれずに  
何度も何度も精液を流し込みます。  
(うっうっ……でも、体が反応しちゃう……♡  
オチンチンすごい気持ちいい……♡)

グネッ

グネッ

グネッ

ハァ♡

ハァ♡

♡

♡





ミルク  
シャワー



精液全部絞り出すような射精をして  
他のみんなもようやく  
発情期が収まったようです。

(今回の発情期すごかった…♡  
イキ過ぎて頭おかしく  
なっちゃうところだった…♡)

ハァ♡

ハァ♡





(もう、限界だからちよっと  
休んでからお家に帰る...)  
キツネのお姉ちゃんは両穴から  
すごい量の精液を溢れさせながら、  
満足そうに寝てしまいました。

ぐんぐん...

ぐんぐん...





その後、自宅に戻ると  
発情した同居人に襲われ  
めっちゃくちや交尾しました。

優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
いつでもエツチなことをさせてくれる  
ドスケベお姉ちゃんでした。

おわり



# ドスケベ 発情ギョネ



\*免責  
・当CG集のキャラクターは全員18歳以上です。  
・当CG集を利用した結果発生した損害等について、一切の責任を負いません。  
・画像データ類の個人利用以外での無断転載、配布を禁止します。

吉井テック社



彼女は優しくくて美人なキツネのお姉ちゃんです。  
一緒に住んでる子が発情期に入ってしまった。

「え、私の裸を見てたら

またムラムラしてきたから

交尾したいですって？

んもお、お風呂に入ったばかりなのに…」





「仕方ないわねえ…ちよつとだけよる♡」

優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
いつでもエツキなことをさせてくれる  
ドスケベお姉ちゃんでした。





「私のお胸で気持ちよくしてあげられるから  
それでガマンしてね♡」  
キツネのお姉ちゃんは  
大きな胸でペニスを包み込みます。

ピクピク...

ムニユ...









あまりの気持ちよさに射精しかけました。  
「あ！お汁がちよっと出てきた、  
そんなに私の胸が良かったの♡」



んっ♡♡♡

どろろろ...

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



「ほんと、発情期オチンチンは  
すぐお汁が出ちやうんだから  
仕方ないわね、えいっ♡」  
射精しそうになっているペニスを  
胸でさらに締め付けあげました。

んっ♡♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ









びゅっくりと大量の濃いザーメンが  
飛び散り、キツネのお姉ちゃんの  
顔や胸が汚れてしまいました。

「ん…♡すごい量出ちゃった…♡」

ト…ロ…





「どろ、ちよつとはスツキリした？」  
お姉ちゃんはそう言いながら  
ペニスについた精液をねっとり  
丁寧に舐め取っていきます。



ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

チュプ...♡  
ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...



射精したばかりの敏感オチンチンを  
ねっとり丁寧に刺激されたせいで  
また、射精してしまいました。





「発情期なんだし

一回出したくらいじゃ収まらないわよね、

あなたのオチンチン♡」

「せっぱり交尾しましょっか…♡」





ピンク色のキレイなアソコが  
ガチガチ発情ペニスを呑み込んでいきます。  
「たくさんお汁を出しちゃっていいからね♡」

ズブズブ...

ぐにゅ...♡





「あ…♡やっぱり  
あなたのオチンチン♡  
太いわね…ギチギチよ」♡

パンッ

ピクッ

ピクッ

パンッ

パンッ







んっ♡♡

パイッ

んっ♡♡

んっ♡♡

パイッ

パイッ



「アソコの奥にお汁を  
出しちゃったのに…♡  
一発目でもう溢れちゃってる…♡」





「ん…♡遠慮しなくて  
いいからね、気が済むまで  
アソコで出していいから…♡」

んっ♡  
んっ♡

パンッ  
パンッ

ピクッ

ピクッ

パンッ  
パンッ

パンッ  
パンッ







ピクッ

んっ

ピクッ

パンッ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

パンッ

パンッ



「ハアハア…ん…ん…  
わ、私はまだ大丈夫だから♡  
ふう…♡ん…♡…♡♡♡♡♡

ド  
プ  
ッ

キュン

キュン

ド  
プ  
ッ







ピクッ

ん...  
あ...ん...  
ん...

ん...  
ん...

ピクッ

グ  
ネ  
ユ

ピクッ

ピクッ

ズ  
ッ

ピクッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

グ  
ネ  
ユ





ゴ  
ム  
ム

ビクッ



ビクッ

ん  
あ  
っ  
♡

ビクッ

ビクッ

ヌ  
ル  
ル

ビクッ



「ん…♡あ…♡  
これだけ出せば  
あなたも満足したわよね？」

ぐりぐりぞ…

ピク

ピク









キツネのお姉ちゃんは  
アクメマンコに特濃ザーメンを  
思いっきり注がれました。

ガク

ガク

ガク

びゅん

ド  
パイ

びゅん

ド  
パイ

ド  
パイ

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

んんん

んんん







ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ





ガク

ガク

あ〜

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ん

ドビュルルルル〜

ガク

ドブッ

ガク

ガク

ドブッ

ドブッ

ドブッ

ドブッ



キツネのお姉ちゃんのオマンコは発情チンポの濃厚なザーメンでパンパンになってしまい結合部から大量の精液が溢れてしまっています。

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

びしょ

びしょ

ドブッ

ドブッ

びしょ

びしょ







「うう…♡軽く交尾するつもり  
だったのに…♡もうへとへと…♡  
私はまだ発情期に入っていないのに♡  
これだけ出せばあなたも満足よね？」

どろろ…



しかし…交尾はまだ終わりませんでした。  
でも、お姉ちゃんは優しくくてドスケベなので  
絶倫発情チンポをしっかり受け入れて、  
失神するまで交尾させてあげました。



パンッ  
ガッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ  
ズッ

ズッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

ぐっ

おっ  
おっ  
おっ

もっ  
もっ



キツネのお姉ちゃんは今日も交尾してくれます。

ロ...

「んもお...♡昨日あんなにいっぱい  
交尾したのに、まだ発情期がおさまらないの？  
こんなにガチガチにしちやあってえ♡仕方ないわねえ...♡」



「んちゅ…♡  
ぺろ…♡  
あなたのおチンチン  
太いから…♡  
お口でするの大変よお…♡」



ンチュ

ペロ

ピッ

ピッ







「んちゅっ♡んちゅ♡れる♡んちゅっ♡  
もう…オチンチンビクビクして  
出そうになってる♡…♡」

んっ♡  
んっ♡

ンチュ

ビクッ

ンチュ

ビク

ビク







Suna Suna

んっ♡

んっ♡

んっ♡



「濃いのでいっぱい出したばかりなのに  
もうこんなに元気になっちゃって、んもお…♡」

んっ♡

ピクッ

ピクッ





「ジュルツ…♡チュブツ♡  
んっ…キユツ♡ズズズヨッ…のよ…♡」



んっ♡  
んっ♡

ンチュ

ピクッ

ンチュ

ピクッ

ピクッ





ビッ

ビッ

ドブッ

んっ♡

ビッ  
ビッ  
ビッ



「んっ…♡ケホツケホツ♡  
今日もすごい量…やっぱり、下のお口で  
いっぱい出さなきゃダメ見たいね♡」

トロ〜

ハァ♡  
ハァ♡







「ほら…来て♡」

キツネのお姉ちゃんは

お尻を前に突き出し

ペニスを受け入れる用意をしました。

「いっぱい交尾しましょ♡」



気持ちのいいフェラで何度も射精して  
ヌルヌルになったペニスが  
何度も滑ってしまいアソコに入らない。  
「んもお！そんなに焦らないの  
私のオマンコは逃げないわよ♡」

ヌルン

ヌルン♡







ん...♡

アソコの柔らかかくて  
ビラビラした感覚に  
挿入する前に射精してしまいました。  
「あ...んもお...♡」

びゅん

びゅん

ピクッ

ピクッ

ピクッ





「挿れる前に出ちやった♡  
もお、敏感オチンチンねえ♡  
でも、さっきより挿れやすくなったでしょ」

べっぴん...



「ん…あっ…んんっ♡  
オ、オチンチン今度は  
ちやんと入って来たあ♡  
それに出したばかりなのに  
もうギチギチになってる…お「うっわ♡」

んっ♡

んっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

ハキョ♡

ハキョ♡

ズッ





「ハア…♡発情期じゃないのに  
私も興奮してきちゃった♡  
いっぱい交尾して  
いっぱい気持ちよくなりましょ♡」  
(♡今日も失神するまで交尾しちゃう♡)

はあ♡  
はあ♡  
はあ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

パンッ

パンッ

パンッ

キョッ  
キョッ





あ  
ん  
っ  
♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ド  
ブ  
ッ

ド  
ブ  
ッ

キュッ

キュッ





「アソコにお汁がいっぱい過ぎて  
突く度にグチュグチュいってる…  
もお…出し過ぎなんだから♡♡」

んっ♡

んっ♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ハチゅ♡

グモ

グモ

グモ

グモ

ハチゅ♡





ドビ

ビュ  
ム

♡

ピクッ

んおっ♡

ピクッ

ピクッ

ガク  
ガク

ガク

ガク

トロ...



「あ…♡アソコからお汁…  
いっぱい出ちやってる♡  
いつもながらすごい量ね♡♡」  
(♡♡) ちょっと、イツちやっただ♡♡



ガク

…ゴクゴクゴク

ゴホホ…

ガク

ガク

ガク



「がちがちオチンチンが収まるまで  
いっぱい中に出していいからね♡  
ガマンはカラダに悪いわよ♡」  
お姉ちゃんも腰を振って  
がちがち発情ペニスの  
射精を促そうとしています。



ピクッ

ピクッ

パンッ

ズッ

ズッ

パンッ

パンッ

キュン♡

キュン♡



どぶっどぶっとお姉ちゃんの  
アソコに新しい精液が注ぎ込まれます。  
発情期に入ったペニスは  
何度も射精しないと  
ガチガチのまま収まりません。



んっ♡

びしょ

びしょ

どぶっどぶっ

どぶっどぶっ

びしょびしょ

びしょびしょ



「ずっとこのまま、繋がって  
交尾していたいって…  
んもお、甘えん坊なんだから♡」





「んあっ♡」  
抜かずに何度も膣内射精されてるので  
キツネのお姉ちゃんも  
何度も絶頂アクメしてしまい  
発情オチンチンを  
絞り上げてしまいます。

んあっ♡

ガッ  
ビクッ

ビクッ

ガッ

ガッ

ガッ

ドクッ

ドクッ

トポッ♡

ドクッ

ガッ

トポッ♡

キム



「んはあっお尻はまだ慣れてないのに…  
そんなにかき回さないでえ…♡」



んはあっはあ♡

んはあ♡

びしょ

びしょ

ぐんぐん

ぐんぐん♡

ぐんぐん

ロー

びしょ

びしょ





ビクッ

オオオオ  
イイイイ  
イイイイ

ガッ

オオオオ  
オオオオ

ビクッ

ビクッ

ガッ  
ガッ

オオオオ  
オオオオ

フ...

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ビクッ

ビクッ

ガッ

ガッ



「はあはあ…♡お尻でもイッちゃった♡  
ちよ、ちよつと休ませて…♡」

ハァ♡

ハァ♡  
ハァ♡

ピクッ

ピクッ

ゴホホ…

ロー



発情チンポに歯止めが効かなくなったので  
何回もノンストップで  
中出しアクメをキメさせられました。



あー  
ダメ  
キメ...

ん  
あー  
キメ...

ピクッ  
ピクッ

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ブッ  
ビッ

ぐ  
ぽっ

グモ  
グモ  
グモ

ド  
フ  
ニッ

ガク



絶倫フル勃起発情チンポと休み無しに延々交尾して…









何十回も連続中出し絶頂させられて  
お姉ちゃんに限界に達していた。



んあっ♡

ドグッ♡  
ビクッ♡

ビクッ♡

ブルブル♡

ブルブル♡

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ドクッ♡

ブル

ブル

ブル

ガッ

ドクッ♡

ガッ

ガッ







「ひら…ひら…♡も、もう…  
これだけ出せばいいわよね♡  
も、もう、アソコにカスらないから…♡」



ガク

ハァ♡

ハァ♡

ガク

ガク

ガク

ガク

キュン

キュン

ガク

ガク

ガク ガク





あーん

カクン

んっ

カクン

ガッ

ガッ

ズッ

ガッ



「ふう…♡あなたの発情期も収まったみたいね♡」  
何度もアクメ失神させられたけど  
ようやく落ち着いてきた  
キツネのお姉ちゃん。  
「ん…♡いっぱい交尾しましたよって…」  
言っただけど1日中するとは  
思ってたなかったわ…♡」

トロ〜

♡

♡





さんざん中出し絶頂したお姉ちゃんの  
両穴からすごい量の精液が流れ出てきた。  
(この量...お風呂で  
洗い流すの大変そうだわ!)

ゴボ。ゴボ。...

ゴボ。...

ん...♡





「ほんと…発情期のあなたってすごいわよね。  
また発情期がきちちゃったら  
交尾させてあげるからね♡」





おわり



おまけ





キツネのお姉ちゃんのお家にお友達がやってきました。  
「ん…ゴメンね、いま交尾中だからちよっと待っててね！あんっ…♡」  
お友達の目の前で気持ちよく交尾をしています。





「アナタもしたくなっただの  
仕方ないわねえ…♡」  
お姉ちゃんの交尾の様子を見た  
お友達も勃起して興奮したようです。







ビクッ

んあ〜♡

ジュジュッ♡

ゴクッ  
ゴクッ

ジュジュッ  
ジュジュッ

ジュジュッ♡

ピクッ  
ピクッ

ジュジュッ♡





ん...ん...

ドブッ

ドブッ

「んもおお...気が早いんだから♡」



「順番ずつだからね！♡」  
興奮してフル勃起した  
お友達も混ざって  
交尾することになりました。



パンッ

パンッ

グキョ

グキョ



キツネのお姉ちゃん達は  
ゴムを付ける習慣がないので  
次々、こっ तरी濃厚な精液を  
膣内の奥にたっぷりと  
注いでいきます。

ハア……♡

ガッ  
ガッ

ドブドブ

ガッ

ジュジュ

ジュジュ

ガッ



キツネのお姉ちゃんは何度も代わる代わる  
たっぷりと中出しさせられてイキまくりした。





「んぶっ…♡んおおっ…♡  
順番ずつつって…言ったの♡  
みんな、我慢できなくなって  
お姉ちゃんのお口やお尻まで  
使い始めました。」

あぁ♡

ど♡

ピクッ  
ピクッ

フッ  
フッ♡

ピクッ

ピクッ

ズッ

ズッ

グキョ

グキョ

ゴキョ

グキョ





グッ...

ぐまぐま

ガッ

ゴポッ

ガッ

ド

ガッ

ガッ

ド  
ド  
ド

ガッ  
ガッ

ガッ

びん  
びん  
びん

びん  
びん  
びん

ガッ



「おおお…♡♡♡」  
交尾を頼まれたら  
断ることが出来ないのよ、  
毎回グチュグチュのドロドロに  
なるまでヤラれちゃう  
お姉ちゃんでした。

ドロ〜

キュンッ

キュンッ

ハハハ

ハハハ





「メスって私だけなの…♡」  
優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
発情期に入ってしまったので、

ハァ♡  
ハァ♡

ムキムキ…

「私の体持つかしら…♡」  
他の発情期の子と  
いっぱい交尾するようですよ…





「ん…んちゅ…オチンチンがいったばい♡」  
ガチガチに興奮しているみんなの発情ペニスを  
丁寧にねっとりしゃぶってあげています。

フビュ

ンチュ

ペロ





発情期に入ったペニスは敏感なので  
舌でねっとり舐め回されると  
すぐに射精してしまいます。

んぐんぐん♡

ぐわっ

ぐ  
ぐ  
ぐ  
ぐ  
♡





「んぶ…♡みんな敏感なんだから…♡」  
口いっぱい広がる精液の味に  
お姉ちゃんも興奮してきました。

いっしょに…♡

キュン♡  
キュン♡







「じゅっ♡じゅる♡ちゅぷっ♡んっ♡♡ちゅっ♡  
オチンチンいっぱい過ぎて…♡んちゅッ♡♡」

んっ♡♡

んっ♡♡

んちゅ♡

んちゅ♡



ピクッ

ゴクッ  
ゴクッ  
ゴクッ

あーん♡

ジュジュ♡

ゴクッ♡

ゴクッ♡

ジュジュ♡  
ジュジュ♡

ジュジュ♡

ピクッ

ピクッ





ペニスを沢山しゃぶったせいで  
お姉ちゃんの頭の中は交尾のことで  
いっぱいになってしまいました。

おがちん  
ちん♡♡♡

ハァ♡

ハァ♡





「オチンチン…♡  
オチンチン…♡気持ちいいっ…♡」  
お姉ちゃんは完全に発情してしまい  
完全に理性が飛んでしまいました。

ピクッ

ハア

ハア

ピクッ

グネッ

ズ

ズ

グネッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





「んんんんんっ♡♡♡」  
お姉ちゃんの発情マンコとお尻に  
たっぷりと精液が注がれました。

んんん

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

びゅん

びゅん

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ



「もっとオマンコ突いてえ…♡  
私の中、お汁でパンパンにしてえ…♡」  
発情期特有のフェロモンで  
どんどん交尾が激しくなっ  
ていきます。

ピクッ

ハア

ハア

ピクッ

グネッ

ズッ

グネッ

ズッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





あー  
あー

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ビクッ

ドク

ガク  
ガク

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ガク  
ガク

ガク  
ガク



モワァ...

ゾ...

ビキビキに固くなった  
発情期ちんぽの力リが  
他の子の精液を掻き出しながら  
自分の精液をどんどん注いでいきます。

ドブッ

ドブッ

キュッ

ドブッ

キュッ

ドブッ

ズルも...



「あひっ…♡あひっ…♡コレ止まらない…♡  
オチンチン気持ちよくて止まらないのお…♡」  
発情期の性欲には勝てません。

ハヒ♡

ハヒ♡

ズッ

ズッ

ズッ

キュッ

キュッ





ドブッ

ドブッ

ゴキョウ

ドブッ

ドブッ

♡

ゴキョウ

ゴキョウ

ゴキョウ

ドブッ

ドブッ

ドブッ

ゴキョウ

ゴキョウ



アクメマンコが痙攣して無意識に  
精液を絞りとろうとするも！

「あゝオチンチン♡また抜けちゃった！♡

精液こぼれちゃうう…♡」

ハァ  
ハァ

ぬるん

ズリゅちゅ…









ドクッ

♡  
♡

ビクッ

ビクッ

♡

ガク

ガク

ガク

ガク

シュッ

ドクッ

シュッ

シュッ

ガク

ガク

ドクッ

ガク

♡



オスの発情フェロモンに  
刺激されまくって、  
お姉ちゃんの発情期は  
なかなか収まることはありません。



あーっ

ドクッ  
キョッ  
キョッ  
ドクッ



お姉ちゃんは性欲よりも先に  
体力が尽きて倒れてしまいました。  
それでもみんな交尾を止めてくれずに  
何度も何度も精液を流し込みます。  
（うっうっ…でも、体が反応しちゃう…♡  
オチンチンすごい気持ちいい…♡）

グネッ

グネッ

グネッ

ハァ♡

ハァ♡

♡

♡





!!  
おっぱい  
♡



精液全部絞り出すような射精をして  
他のみんなもようやく  
発情期が収まったようです。

(今回の発情期すごかった…♡  
イキ過ぎて頭おかしく  
なっちゃうところだった…♡)

ハァ♡

ハァ♡





(もう、限界だからちよっと  
休んでからお家に帰る…)  
キツネのお姉ちゃんは両穴から  
すごい量の精液を溢れさせながら、  
満足そうに寝てしまいました。

ぐんぐん…

どどど…



その後、自宅に戻ると  
発情した同居人に襲われ  
めっちゃくちや交尾しました。

優しくて美人のキツネのお姉ちゃんは  
いつでもエツチなことをさせてくれる  
ドスケベお姉ちゃんでした。

おわり































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































































